

山梨県講演会 「企業が今、本当にすべきこと～女性、若者に選ばれる企業になる道～」 参加報告

2025年7月10日
一般社団法人山梨県情報通信業協会
ダイバーシティプロジェクト

2025年度、一般社団法人 山梨県情報通信業協会（以降YSAとする）の「ダイバーシティプロジェクト」では、『外部団体との情報交換・意見交換』を活動内容としております。

その活動の一環として、山梨県主催の講演会「企業が今、本当にすべきこと～女性、若者に選ばれる企業になる道～」を聴講させていただきました。

当日の様子とダイバーシティプロジェクトメンバーの感想を掲載いたします。

開催日

2025年 6月 13日（金）

開催場所

山梨県庁防災新館オープンスクエア
山梨県甲府市丸の内1-6-1

講演会の様子

第1部では「企業が今、本当にすべきこと～女性、若者に選ばれる企業になる道～」というテーマで、講師の宇佐川邦子さんより現在の日本と山梨の現状、社会全体の変化や労働者(特に若者、女性)の価値観の変化、それを踏まえて人材確保のために企業側に求められることなどをお話いただきました。

第2部では、宇佐川さんが昨年講師を務めました女性管理職候補者向け研修「やまなしMiraiクエスト」の参加者とその上司を交えたトークセッションを行い、研修に参加しての成果や感想などのお話をお聞きしました。

その後、グループに分かれて参加者同士の意見交換を行いました。お時間の関係で10分程度でしたが、参加者の皆様のお話を伺うことができました。

令和7年度山梨県女性活躍応援プロジェクト事業
経営者・管理職向け意識改革促進講座

講演会

企業が今、本当にすべきこと
**女性、若者に選ばれる
企業になる道**
2025.6.13 (金) 14:30～16:30
会場 山梨県庁防災新館オープンスクエア
(甲府市1-6-1)

株式会社インディードリクルートパートナーズ
リサーチセンター 上席主任研究員
講師 宇佐川 邦子 氏

【講師プロフィール】
リクルートグループ入社後、一貫して求人領域を担当。様々な業界の特色を踏まえ、求人・採用活動、人材育成・定着、活躍促進のための従業員満足ケアシステム等、「働く」に関する課題と解決をテーマに全国で講演・提言を行う。内閣府、経済産業省、日本・東京商工会議所等において委員も務める。

【イベント概要】

14:00	開場
14:30～15:40	宇佐川 邦子 氏 講演 「企業が今、本当にすべきこと～女性、若者に選ばれる企業になる道～」
15:40～16:20	やまなしMiraiクエスト参加企業と宇佐川氏のトークセッション
16:20～16:30	意見交換
16:30	閉会

【申込み方法】
次のURL、QRコードから申込ください👉
申込期限：2025年6月11日（水）
<https://forms.office.com/r/kZUGjacBXJ>

入場無料
要事前申込
定員80名程度

主催：山梨県
総合県民支援局 男女共同参画・多様性推進課
TEL:055-223-1358 E-mail: denjo-tayo@pref.yamanashi.lg.jp

「若者を惹きつける要素」「女性活躍」を主に講演いただき、また昨年度やまなしMiraiクエストの参加者およびその上司を交えてのトークセッションを聞いた。

企業はお金と時間をかけている割に、本当に欲しい（質の良い）人材を採用できていないのが現実である。また20～30代前半の離職率が多い現状は、どこの企業にも当てはまることが分かった。さらに30代ともなってくると、キャリアアップを考える人が増加、企業としてもまた一步階段を上る人材を育てよう…と思っていた矢先に離職。そのため管理職候補が減少してしまうことには納得した。

やまなしMiraiクエストは、そんな管理職候補となる女性社員が活躍するひとつの活動である。活動内容（企業の課題レベル）によっては高負荷になるため上司やチームのサポートが非常に大切であるが、この活動によって企業が社員をきちんと評価する体制が整っていれば参加者は相当な達成感とモチベーションの向上を得られると客観的に感じた。社員が企業の課題を考え、解決に向けて取り組み、周りを巻き込むことは簡単なことではない。ただ、こういった活動だからこそ取り組めるのかもしれない。「男」「女」と切り分けるのはこのご時世どうかとは思いますが、大抵は男性ありき、男性ばかりの企業の中で、女性も同じように活躍していけるという言葉を実行にしているのがこのやまなしMiraiクエストなのかもしれない。

そう思うと、この活動の良さがさらに見えてくるような気がした。

今回は、宇佐川邦子先生の講演会に参加させていただき、誠にありがとうございました。

特に印象に残ったのは、「現在の求職者や若者にとって『収入休日・時間』という価値観が主流になっている」というお話です。多少収入が下がっても、休日が多く、残業が少ない職場を望む傾向が強まっているという点に、現代ならではの意識の変化を強く感じました。

私自身、20代前半の頃は「給料の高さ」を重視していましたが、30代となり家庭を持つ中で、自分の時間や家族との時間を大切にしたいという気持ちが大きくなってきました。仕事の充実とライフスタイルの両立を求めることは、かつては「欲張り」と思われていたかもしれませんが、今ではそれが当たり前の価値観になってきているのだと実感いたしました。

また、「完全週休二日制」の企業が求職者に選ばれる中で、3か月に1度の土曜出勤があるだけでも、求人検索の段階で除外されてしまうという点には非常に驚きました。たとえその出勤日が社員研修であったとしても、平日実施に切り替えることで、より多くの人に求人を見てもらえる——このような先生の柔軟かつ実践的な発想に、大変感銘を受けました。

弊社も若い人材を必要としている企業ですので、休日や勤務時間の柔軟性を見直し、「働きやすい会社」への改革を進めていくことが、良い人材の確保につながると強く感じました。

今回の講演会は非常に有意義な時間となりました。改めまして、ありがとうございました。

今回、山梨県が主催する宇佐川邦子先生の講演会「企業が今、本当にすべきこと～女性、若者に選ばれる企業になる道～」を聴講させていただきました。

現在、どの企業も人材確保に苦戦しており、採用自体が難しくなっている中で、「社員の離職防止」が最優先事項であることを知りました。そのためには、社員を理解し、現代の価値観に合った企業へと変わっていく必要があるというお話が印象に残りました。

また、現在は「VUCAの時代」（変動性：Volatility、不確実性：Uncertainty、複雑性：Complexity、曖昧性：Ambiguity）と呼ばれる、将来の予測が難しい時代であることから、仕事で求められる力や重視されるポイントも、過去とは大きく変化しているとのことでした。

かつては「確実性」や「正しさ」が重視され、会社で決まったことを指示通りにこなす力が必要とされていました。しかし現在は、スピード感が求められ、必ずしも正解であるとは限らない中でも、その時点で最適な選択を判断し、自ら考え、自律的に行動する能力が重視されるようになっているとのことでした。

昔と今とで求められる力が大きく異なることに、改めて驚かされました。このような時代には、固定概念にとらわれず、柔軟に対応できる組織づくりや職場環境の整備が重要であると学びました。

さらに、労働者の意識や価値観、ライフスタイルの変化も、働き方に大きな影響を与えているというお話がありました。

現在では、自分の時間を大切にしたいと考える方が多く、労働者の46%が「収入が減っても短時間勤務（残業なし）の方が良い」と考えているそうです。求職者が企業に求める条件としても、「休日の日数」が特に重視されており、年間120日以上あることが望ましいとのことでした。

私自身も、結婚や出産を経験する中で、「収入が多くても家族との時間が少ない働き方」よりも、「収入は少なくても家族と過ごす時間が多い働き方」の方が望ましいと感じるようになりました。

弊社は、制度面において比較的柔軟な働き方ができる環境にあると思います。特にリモートワークについては、環境的に可能な社員が積極的に活用しており、私自身も家庭の事情で利用することがあります。

今後の生産年齢人口の減少を見据え、人材を確保していくためには、社員の満足度やエンゲージメントを高める必要があると感じています。そのためには、社員の声に幅広く耳を傾け、制度に反映させたり、配慮すべき点には柔軟に対応していくことが重要だと思います。

（次ページへ続く→）

(→前ページからの続き)

ただし、すべての要望をそのまま受け入れるのではなく、実現可能な要望とそうでない要望を適切に見極めて対応していく姿勢が、今後さらに重要になってくると感じました。

講演の後には、山梨県が昨年度から実施している女性管理職向け研修「やまなしMiraiクエスト」の昨年度参加者と宇佐川先生によるトークセッションが行われました。

研修参加者の方々が実際に取り組んだプロジェクトや、その成果、研修を通じた変化について具体的なお話を聞くことができました。リーダーとしてプロジェクトを進めていく中での大変さや難しさもあったかと思いますが、それ以上に大きな達成感を得られた様子が伝わってきました。

今回の講演会に参加し、改めて時代の変化や労働者の価値観に応じた、柔軟な働き方ができる職場環境づくりの重要性を実感いたしました。
貴重なお話をありがとうございました。